

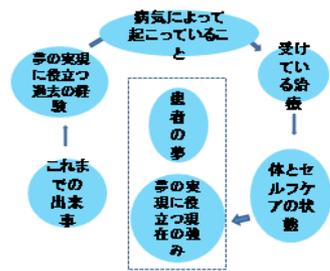
看護部長講話



佐野睦美看護部長により、今年度の看護部の方針について講話がありました。

クライシスプランやストレングスモデルを活用し、受け持ち看護師を中心にすべての患者さんに質の良い看護を提供していくこと。新しい教育体系の構築と活用実践により、看護の質の向上を図っていくことについて話されました。

1. 受け持ち看護師を中心にすべての患者に良質な看護を提供する



＜スライド38モデルマップのシート＞

クライシスプラン
(緊急時対応計画)

- *症状悪化時の注意サイン
- *患者本人が納得できる
- *家族も対応できるシンプルな内容
- *患者と一緒に作成する
- *地域の支援者等共有する

看護問題 #〇

2 働きやすい職場環境作りに取り組む

- *日中勤務の検討(時間帯・業務内容)
- *看護助手との協働の推進
主任看護助手への外来業務移行
- *アサーティブなコミュニケーション
- *新卒新人看護師の離職なし



3 看護の質の向上を図る

新しい教育体系の構築:活用と実践

北病院のラダーの考え方
平成31年度より

JNAラダーに沿う



私のねがい

受け持ち看護師としての自覚と責任を果たしてほしい。

今の自分、これからの自分を考える人であってほしい。

*さまざま、背景を考えて 今の自分に何が出来るか

元気で明るく 仕事に向かってほしい。

職場では=専門職として責任を持った仕事を(ワークライフ)
自宅では=余暇を楽しみ、自分らしく(ライフワーク)

